

いのちとくらしをまもる
防災減災令和6年8月1日
山形地方気象台

梅雨明けに関するお知らせ

山形県を含む東北南部は8月1日ごろ、
梅雨明けしたと見られます。

東北南部では、高気圧に覆われて晴れている所が多くなっています。
向こう一週間、山沿いや内陸部を中心ににわか雨や雷雨となる所がありますが、
高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。
このため、仙台管区気象台は「東北南部は8月1日ごろ、梅雨明けしたと見
られます」と発表しました。

(参考事項)

東北南部の梅雨明け				
今年(令和6年)	平年	平年差	昨年(令和5年)	昨年差
8月1日ごろ	7月24日ごろ	8日遅い	7月22日ごろ	10日遅い

梅雨入りを発表した6月23日から7月31日までの降水量(速報値)と平年値

	降水量	平年値	平年比
山形	298.0ミリ	228.0ミリ	131%
酒田	703.5ミリ	267.7ミリ	263%
新庄	959.5ミリ	275.5ミリ	348%

(平年値は、1991年~2020年の観測値に基づくものです。)

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。

問合せ先：山形地方気象台

電話 023-622-2262